

# 『地域漁業研究』 執筆要項 (改訂案)

制定：2008年2月1日

改訂：2017年11月30日

## 1. 原稿の作成ならびに提出

投稿は英文・和文ともすべて電子ファイルとする。

その際、学会 HP 上 (<http://www.jrfs.org/toko.html>) にある「論文フォーマット用ファイル」をダウンロードして本文を作成すること。また、あわせて「送り状フォーマット用ファイル」に記入してメールに添付すること。

原稿の作成ならびに提出には、以下の2点のファイルを使用する。

- ① 論文フォーマット用ファイル
- ② 送り状フォーマット用ファイル

提出時には、上記2点のほか、以下の③も送付する。③については、「2. 原稿のスタイル」に規定する2段組フォーマット (HP 上のテンプレート参照) に著者自身で組み直したものを PDF に変換して送付する。

- ③ 投稿テンプレートに従い、タイトル・執筆者名・キーワード・英文要約の下を2段組フォーマット (本文・図表 (部分的に左右両段にまたがっても良い)・注釈) に調整した原稿を PDF に変換。

なお、ファイル名は、必ず規定に沿ったものにする。

- 例) ① 論文【20171021\_地域太郎】.docx  
② 送り状【20171021\_地域太郎】.docx  
③ 2段組 PDF 原稿【20171021\_地域太郎】.pdf

送付先：地域漁業学会編集委員会 (株)共立内事務局 三角宛

E-mail: jrfs\_journal@kyouritsu-online.co.jp

送付件名：「論文投稿 著者名」

## 2. 原稿のスタイル

学会 HP 上にある論文フォーマット用ファイルを利用し、英文・和文とも A4 用紙に横書きとする。統計表及び図については、本文中に挿入のうでで作成する。手書き原稿は受け付けない。

- ① 1行 ; 40文字
- ② 1ページ ; 34行
- ④ 文字サイズ ; 10.5ポイント
- ⑤ 上下左右の余白 ; 上下は22mm、左右は30mm

投稿時には、上記スタイル (論文フォーマット用ファイル) とするが、製本時には2段組み (21字×35行×2段=1470字/頁) となる。投稿の際には、HP に掲示してあるテンプレートを参考にして、投稿規程に定めた以下の原稿種類ごとのページ数に収まるように著者自身で2段組フォーマットに組み直し、調整すること。なおページ数は、タイトル・執筆者

名・キーワード・英文要約・本文・図表・注釈も含めた算定となる。

- ① 論文（会員投稿&大会シンポジウムに関するもの）…刷り上がり 10 ページ以内
- ② 報告論文（一般報告に関するもの）…刷り上がり 8 ページ以内
- ③ 研究ノート・実態調査…刷り上がり 6 ページ以内
- ④ 書評……刷り上がり 2 ページ以内

図表（写真も含む）の枚数は、本要項「6. 図表の書式」の規定より以下の通りとする。①論文は 10 葉以内、②報告論文は 8 葉以内、③研究ノート・実態調査は 6 葉以内とする。

### 3. 原稿の書式

- ① 章節構成 ; 章と章、節と節については、1 行あけ。章は 1. 2. …、節は 1) 2) …、項は (1) (2) …とする。
- ② フォント ; 文字は MS 明朝体。英数字は Century 体、半角とする。章節の題目はゴシック体とする。
- ③ 句読点 ; 。 、
- ④ 年次 ; 4 桁の西暦。半角とする。
- ⑤ 水産動植物名 ; 全角カタカナ。学名は原則として併記しない。
- ⑥ 統計数値 ; 半角とする。桁の多い場合には千、万、億を使用できる。例 12、345 7 億 5 千万
- ⑦ 注記 ; \*\*\* 1) 指し示す単語の右肩部分に数値を片カッコ付きで記入する。また、注記は本文末に「注」とし、まとめて記載する。「参考文献」および「付記」が必要な場合は「注」の後に付すこと。

### 4. 要約とキーワード

投稿原稿（書評を除く）には英文要約（120 語以内）をつける。掲載場所はテンプレートの通り、①英文タイトル（文頭以外の冠詞・接続詞・前置詞を除く単語の頭文字は大文字）、②著者名（日本人は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は頭文字が大文字）の後に、③英文要約本文、をおく。またその後ろに④10 語以内の英語キーワード、を記載する。

### 5. 引用文献の書式

和文 ;

著者名『書名』（出版社名、出版年・西暦）、p. ○.

筆者名「論文名」、編著者名『書名』（出版社、出版年・西暦）、pp. ○~○.

執筆者名「論文名」『雑誌名』巻号（通巻）、出版年・西暦、pp. ○~○.

例

地域太郎『日本の漁業』（漁業統計協会、1995 年）、p. 23.

地域太郎「中国の漁業」、日本一郎編著『東アジアの漁業』（漁業統計協会、1996 年）、pp. 123~147.

地域太郎「台湾の漁業」、『地域漁業研究』39 巻 3 号、1996 年、pp. 68~82.

英文：

姓名、名頭文字. 出版年. 書名 (イタリック)、出版地：出版社、p. ○.

姓名、名頭文字. 出版年. “論文名”、書名 (イタリック)、出版地：出版社、pp. ○-○.

姓名、名頭文字. 出版年 “論文名”、雑誌名 (イタリック) 、巻号、出版地：出版社、pp. ○-○.

例

Chiiki, T. 1995. Japanese Fisheries, Tokyo: Fisheries Statistics Association, p. 34.

Chiiki, T. 1996a. “Fisheries Development in China”, Nihon, I. Fisheries in East Asia, Tokyo: Fisheries Statistics Association, pp. 35-42.

Chiiki, T. 1996b. “Fisheries Development in Taiwan”, Journal of Regional Fisheries, Kagoshima: Fisheries Statistics Association, 39(3), pp. 36-40.

## 6. 図表の書式

- ① A4用紙1枚につき1つの図あるいは表を記載し、数値及び罫線が簡素かつ明瞭なものとし、カラーを用いないこととする。なお、図表には写真も含む。
- ② フォント；文字はMS明朝体、英数字はCentury体・半角、タイトルはゴシック体とする。
- ③ 注及び出所；注、出所の順とし、図または表の下部欄外に左寄せする。
- ④ 図1、図2、(タイトルは下部)、表1、表2 (タイトルは上部) と表記し、センタリングする。